

令和2年度 自己評価書・学校関係者評価書

「4」■ そう思う 「3」■ どちらかといえば、そう思う 「2」■ どちらかといえば、そう思わない 「1」■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐむ教育の推進		
1 一人一人の児童生徒の尊重 学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。	2 友達への思いやり 子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。	3 道徳・心の教育の充実 学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)
【1 一人一人の児童生徒の尊重】「3」「4」の割合が保護者は96%（昨年度92%）、児童は97%（昨年度98%）、教職員は100%（昨年度93%）と昨年度を上回り高評価である。今後も児童や保護者の思いに寄り添った指導や対応を心掛ける必要がある。【2 友達への思いやり】「3」「4」の割合が保護者・児童ともに96%と昨年並み、教職員は100%（昨年度71%）と三者ともに高評価である。今後も継続して「呼び捨てしない」、「乱暴な言動をしない」等、他者を思いやる心を育むとともに、各学年の発達段階に応じた人権学習を実施していきたい。【3 道徳・心の教育の充実】「3」「4」の割合が保護者は96%（昨年度88%）、教職員は100%（昨年度96%）と二者ともに高評価である。今後も考え議論する道徳の授業づくりの他、学校教育活動全体で心の教育に努めるとともに、親子道徳の日や道徳授業参観を実施したり、学校の取組を学校・学級だよりや懇談会や保護者へ発信したりしていきたい。		

②確かな学力を育む教育の推進		
4 意欲的な学習態度 子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。	5 授業力向上 先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	6 ICT活用 先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。
【4 意欲的な学習態度】三者ともに「3」「4」の割合が90%超と高評価である。これは下記「授業力向上」「ICT活用」の取組の成果と考えられる。今後も確かな学力を育む教育の推進に努めたい。【5 授業力向上】「3」「4」の割合が保護者は96%（昨年度90%）、児童は91%（昨年度85%）と昨年度を上回り、教職員は100%という結果から、教職員の授業力向上のための取組がより高く評価されていると言える。今後さらに「1」「2」と回答した9%（21人）の児童にもわかる喜びを味わわせることができるよう、授業力向上に努めたい。【6 ICT活用】ここ数年評価の高まりが見られ、「3」「4」の割合が保護者は95%、児童は94%、教職員は100%とそれぞれ昨年度より4~5%上回っている。今後さらに電子黒板やタブレット等ICT機器の効果的な活用法や教材づくりについての研修を充実し、児童が意欲的に参加しわかりやすい授業づくりに努めたい。		

③健やかな体を育む教育の推進	
7 健康づくり 子どもは、好き嫌いのない食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。	
【7 健康づくり】「3」「4」の割合が保護者は86%（昨年度85%）、児童は79%（昨年度78%）、教職員は85%（昨年度89%）であり、三者間の差は小さくなった。食、運動、睡眠のいずれにも課題があるのか分析をし、課題解決に向けた取組を家庭やPTA等と連携しながら行っていく必要がある。	

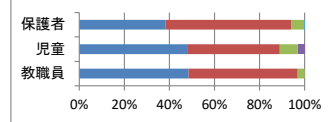
①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実		②特別支援教育の推進	
8 児童生徒理解 先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていますか。	9 いじめや問題への対応 学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。	10 学校の支援体制 学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	
【8 児童生徒理解】「3」「4」の割合が保護者は96%（昨年度89%）、児童は90%（昨年度92%）、教職員は昨年度同様100%と高評価である。教職員のきめ細やかな対応等の努力が高評価につながったと思われる。今後も児童一人一人のよさを認め、褒め、励まし、伸ばしていく中で、児童の自尊感情を育てていくとともに、さらに児童生徒理解に努めていきたい。【9 いじめや問題への対応】「3」「4」の割合が教職員は昨年度同様100%であり、また保護者は89%（昨年度78%）、児童は92%（昨年度85%）と伸びが見られることから、学校の迅速な対応は一定の評価を得ていると思われる。しかし、「1」「2」と回答した保護者が30人、児童が12人いる点を踏まえ、一人一人の思いを大切に、より迅速かつ丁寧な対応、報告を心がける必要がある。【10 学校の支援体制】例年高く評価されており、「3」「4」と回答した保護者の割合は96%（昨年度89%）、教職員は100%（昨年度89%）である。これは特別支援コーディネーターを中心とした学級担任と学級支援員等との連携、今年度配置された学習指導員の成果であると思われる。また必要に応じて心のサポート相談員、SC、SW、外部の関係機関とも連携しており、今後も組織的に対応していきたい。			

①子どもたちの身近な安全対策の充実		②最適な学習環境の整備	
11 安全と事故防止 学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	12 施設・設備の安全管理 学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。		
【11 安全と事故防止】「3」「4」の割合が保護者は96%（昨年度89%）、児童は92%（昨年度91%）、教職員は昨年度同様100%と高評価であり、学校の安全教育への取組や青パト隊による放課後パトロール等が高く評価されていると考える。今後も学校安全計画に基づいた安全教育のさらなる充実、必要に応じて学校安全計画の見直し等を行うことで、事故防止に努めたい。		【12 施設・設備の安全管理】「3」「4」の割合が保護者は90%（昨年度84%）、児童は88%（昨年度80%）、教職員は昨年度同様100%であった。一方で、「1」「2」と回答した児童・保護者はそれぞれ約30人いる。今後も日常・定期的な安全点検の充実を図り、安全管理に努めたい。	

③家庭・地域社会との連携強化

13 教育方針・目標の理解

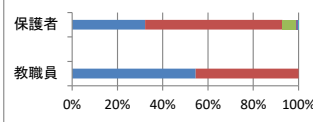
学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



【13 教育方針・目標の理解】「3」「4」の割合が保護者は94%（昨年度83%）、児童は89%（昨年度86%）、教職員は93%（昨年度96%）である。全体として高い評価を得ており、また保護者が昨年度比11%伸びが見られたのは、学校・学年・学級だより等の発行により、教育方針や目標の理解が進んでいるためと思われる。一方で、「1」「2」と回答した児童が11%（27人）おり、今後、学校や学級の目標・めあてを発達段階に応じて、わかりやすく効果的に伝える工夫が必要である。【14 家庭や地域との連携協力】「3」「4」の割合が保護者は93%（昨年度82%）、教職員は昨年度同様100%と高評価であった。特に、今年度は新型コロナウイルスの影響で、例年までと同様には実施できなかったものの、感染症対策を講じつつ工夫しながら各種行事を実施したり、家庭や地域と連携した取組を行ってきた成果であると思われる。今後も、地域に応じた特色ある教育活動をすすめていきたい。

14 家庭や地域との連携協力

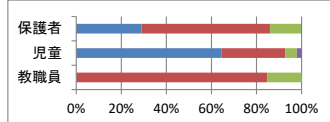
学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



④本校の教育

15 あいさつ

子どもは、地域や学校であいさつができていますか。

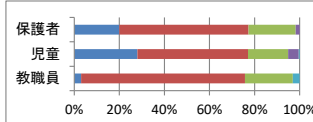


※今回も、3項目とも「4 そう思う」と回答した割合が、児童、保護者、教職員の順に高く、また三者の評価の差が大きい。

【15 挨拶の励行】「3」「4」の割合が保護者は86%（昨年度83%）、児童は93%（昨年度90%）、教職員は85%（昨年度50%）と全体として高い評価であった。今後も日常的なあいさつの推進、児童会を中心としたあいさつ運動等、継続的な取組を進めたい。【16 公共心・勤労・奉仕】「3」「4」の割合が保護者は77%（昨年度71%）、児童は77%（昨年度80%）、教職員は76%（昨年度25%）であり、特に教職員の評価が大きく高まっている。高学年が朝の落ち葉はきを行う等、積極的なボランティア活動が評価されたと思われる。今後も靴やスリッパをそろえることの習慣化や無言掃除の推進に努めていきたい。【17 規律】「3」「4」の割合が保護者は85%（昨年度92%）、児童は90%（昨年度96%）、教職員は88%（昨年度50%）であり、特に教職員の評価が大きく高まっている。時間を守る、ルールを守る等は、自他の安全を守り、人に迷惑をかけるためにも必要不可欠である。登下校の様子や放課後の遊び方について、今年度も地域住民等からの苦情が少なく、その都度対応している。今後も、教職員・児童・保護者間で成果と課題を共有しながら、家庭や地域と連携して児童の規範意識を高めていきたい。

16 公共心・勤労・奉仕

子どもは、学校で、はきものそろえや無言掃除やボランティアができていますか。



17 規律

子どもは、きまり（宿題をする、時間を守る、やっつけはけないことをしない）を守っていると思いますか。

